

# トラスト便り



10月に入ってようやく秋の風を感じたと思ったら、今度は早くも冬の気配。風邪にご注意ください。

株式会社東京トラスト



## 築地から豊洲へ ～魚河岸のはなし～

最近何かと耳にする「**築地市場移転**」の話題。東京の**魚河岸**の始まりは徳川家康の時代にさかのぼります。江戸幕府を開いた家康は、江戸の台所を賄うために大坂から漁師たちを呼び寄せ、魚を幕府へ献上させました。漁師たちが余った魚を**日本橋**界隈で売ることになったものが魚河岸と呼ばれ、現在の**市場**の始まりとされています。明治維新後には、東京の近代化に伴う人口や取扱量の急激な増大により、日本橋の市場には取引が乱れる・不衛生になる等の問題が浮上しました。そこで大正12年3月、政府は「**中央卸売市場法**」を制定し、東京市が市場を運営することで衛生的で公正な取引による価格と品質の安定を目指しました。しかし同年9月に起きた**関東大震災**が首都を直撃し、魚河岸は壊滅的な被害を被り稼働不能となります。震災後は芝浦に仮設市場が設けられましたが、交通等が不便であったため、隅田川や汐留駅といった水運、陸運に恵まれていた**旧外国人居留地（築地居留地）**の海軍省所有地を借り受けて臨時的**東京市設魚市場**を開設しました。これが現在に至る**築地市場**の始まりです。築地は魚市場のイメージが強いですが、青果市場も併設しており、東京都内では大田市場に次ぐ二番目の規模となっています。**豊洲**への移転問題で揺れていますが、これからも食の安心安全を守るための市場であってほしいですね。

## 不動産ニュース 企業の首都圏転入 最多



帝国データバンクの調査によると、地方から首都圏への企業の転入が加速している。2015年に1都3県へ本社機能を移した企業数は14年比13%の335件と過去最多となった。また都内転入に限っても641件と、転出の639件を初めて上回った。従来は比較的地価の安い神奈川、埼玉、千葉に本社を移す企業も多かったが、地方の人口減で市場が縮小し、労働力の確保や商機を求め近隣3県や全国からの転入が増えている。16年もこの傾向が続く。政府は地方創生で本社の地方移転を推進するが、東京一極集中に歯止めはかかっていない。

### \* 西荻グルメ \* 西荻窪 はや人

西荻で店を出して早2年。

2階の立地にもかかわらずいつも賑わっているお店です。

目の前の厨房で調理風景を楽しめるカウンターが嬉しい。

明るく元気な大将とのトークも楽しんでいただけます。

炭火で焼かれたお肉や野菜、もちろん魚も最高に美味しいですよ。

メニューを全部クリアしたいお店です！

杉並区西荻南3-15-9 GSハイム2F TEL：03-5941-6124

